

案内

秋季全国火災予防運動週間

11月9日から15日まで秋季全国火災予防運動週間です。消防法改正により、住宅には住宅用火災警報器の設置が義務となりました。高齢者等の火災による死者発生防止のために、住宅用火災警報器を設置しましょう。

なお、11月9日は「119番の日」です。火災・救急の時は、発生場所、状況などを慌てずに通報してください。

☎ 白河消防署 ☎ 22155

えきかふえ直売所

●日時 11月の毎週水曜日
午前10時～午後2時
☎ 楽市白河 ☎ 271448

歴史まちづくり市民シンポジウム

本市の歴史と伝統をいかしたまちづくりについて、皆さんと考えるシンポジウムです。
●日時 11月28日(日)／午後1

時30分～3時30分
●会場 白河商工会議所(大手町)

●内容 ①基調講演「白河市における歴史まちづくりへの提言」講師 早稲田大学大学院有賀隆教授 ②歴史まちづくりの取り組み状況報告 ③パネルディスカッション

●参加料 無料 ※要事前申込
☎ 本庁舎都市計画課 内2293

白河彩発見ぐらりまち歩き

●日時 11月13日(土)／午前9時15分から
●集合場所 JR白河駅「えきかふえ」

●定員 20人 ※要予約
●参加料 1,000円(昼食代・保険料)
●申し込み・問い合わせ先 楽市白河 ☎ 271448

児童扶養手当

児童扶養手当は、8月1日から父子家庭も対象となりました。8月1日以前から父子家庭の場合、11月30日までに申請し、受給要件に該当すれば8月にさかのぼり受給する

まちかど伝言板

ことができます。
☎ 本庁舎こども課 内2732

第8回五箇まつり

●日時 11月14日(日)／午前8時30分から

●会場 五箇市民センター(田島)

●内容 大谷五花村句会表彰式、新米手すくい取り大会、ステージ発表コーナーなど
☎ 住みよい五箇をつくる会 ☎ 2719

シニアワークショップ 「介護入門講習会」

●開催日 11月24日(水)・25日(木)・30日(火)、12月1日(水)・6日(月)

●開催場所 事務局にお問い合わせください。

●対象 60歳代前半の方まで
●定員 30人
●申込期限 11月10日(水)まで
●参加料 無料
●申し込み・問い合わせ先 (社)白河・西郷広域シルバー人

市民天体観望会

材センター ☎ 229128

●日時 11月13日(土)／午後5時30分～7時

●場所 JR白河駅北側駐車場(城山臨時駐車場)

●内容 月面、木星と衛星、星雲・星団の観察

●参加料 無料
※当日晴れなかった場合は、中止とします。天気がはっきりしない場合は、電話で確認してください。
☎ 白河天体同好会 小椋 ☎ 233696

白河司法書士総合相談センター

●日時 11月4日(木)、12月2日(木)／午後5時～8時

●会場 マイタウン白河(本町)

●内容 不動産登記・会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見等に関する相談
●申込方法 事前に申し込みが必要となります(月々金曜日)。
☎ 同センター ☎ 231785



市長の手裡え帖

『合併について考える』

白河市長 鈴木 和夫

この11月6日で合併5年を迎えます。成井前市長や各村長・議会・団体の皆様のご労苦に改めて敬意を表します。当時、合併に懐疑的な人たちもいました。特に旧3村では、役所が遠くなり意思が反映されない、細やかな目配りに欠ける、といった心配が先に立ちました。市長就任の頃はまだ合併の評価も定まらず、合併に特有なざわつきがありました。その後3年を経て、どうやら市の一体感ができ、「白河」市民としての意識も定着しつつあるように思えます。

合併に対立や軋轢はつきものです。昭和の合併でも会津のある地域では、むしろ旗の立つ大騒動になりました。「殴られるのを覚悟して行った」と先輩から聞きました。不幸にも、板ばさみで自殺者まで出ました。県内には流血の一步手前までいき、今でも後遺症の残る地域があります。本市の旗宿と表郷中野・内松はもと古閑村で縁の深い関係にありましたが、結局白河市と表郷村に分かれ、長いこと違和感がありました。考えてみれば、生活の土台である集落やまちが、どの自治体に属するかは大きな問題です。

市町村とは違った次元で、県も地域間の統合に苦慮しています。青森の旧津軽と南部の反目は長く続き、地下水脈のように残っていると聞きます。山形では海沿いの庄内と内陸では、風土・人情が違い、空港も各々にありかつては経済連も別個にありました。岩手も水沢など旧伊達と盛岡の旧南部には、見えな壁があるようです。長野は、北・中・南信濃が互いに山に隔てられ、交流も少なく、対抗意識が強いことで知られています。ことほどさように地域がまとまるといえるのは難しいものです。

さて合併では、よく新市の名称が問題になります。これでつまずき、破談になることもあります。互いに譲らず、土地柄や歴史の感じられない名称にせざるを得なかった市もあります。

県の職員としてかかわった原町市と2町の合併を思い出します。公募の中から、いったん「ひばりの市」に決まりましたが、鎌倉から続く名門相馬の地にふさわしい冠をつけないのはおかしいとの異論が出た。結局、南相馬市となりました。歴史の風雪の中でなじんできた地名は、生活に溶け込み心の奥底に刻み込まれ、誇りになっていきます。その点白河や会津はいいですね。歴史的にも生活圏でも、合併後の名称にこれ以外の名が出ることは、まず想定されないと考えます。「白河」に感謝です。

日本には、1,750の市町村があります。今後分権が進み、市町村が住民生活により深くかかわるようになることは確実であり、一方県を廃し道州制の議論もなされています。私は今の規模と行財政能力で、自立的な地域の運営を求められる厳しい状況に対応できるか、不安に思っています。いづれ、合併を含め、市町村のあり方を見直す議論が巻き起こるものと見ています。

自治体の規模の大小にかかわらず、大事なことは身近な生活空間に活力があるかどうかです。町内会や集落で、地域をつくる気概と行政の支援があれば、変化を恐れることはありません。憂うべきは、あきらめにも似た無力感と、これによる地域の砂漠化です。

合併後5年。何より嬉しいのは、市内各地で白河を魅力的にし、後世に渡そうとする気運が醸し出されていることです。白河の素材に良さに気づき、市民が同じ方向に歩き始めた手応えが感じられます。これからは、光る都市にしていきたいでしょう。

市の事業の進捗状況などについてお知らせします。

お知らせします 市の各種事業

【がんばる後継者支援事業】

本市農業の将来を担う農業後継者を支援するため、関係機関と連携し農業の6次産業化を見据えた中で、農業に関する講座や講演、視察研修会等を内容とした「しらかわ農業未来塾」を9月に開講しました。また、白河4地域の青年農業者のネットワークづくりも併せて進めていく計画です。

専業農家の後継者に限らず、兼業農家や就農に興味のある皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは、お問い合わせください。

☎ 本庁舎農政課 内2222



▲しらかわ農業未来塾開講式